

三重県サッカー協会技術委員会 2022年度ベクトル合わせ



2022・4・17
委員長 片野典和

自己紹介

1977年8月31日（44歳） 鈴鹿市出身

勤務先：三重県立津工業高等学校

所属チーム：津工業高校サッカー部監督

【学歴】

- ・ 庄野小学校→平田野中学校
→四日市中央工業高校→名城大学

【選手歴】

- ・ 庄野サッカー少年団→平田野中学校サッカー部
→四日市中央工業高校サッカー部→名城大学サッカー部
→MINDHOUSE四日市（現、TSV1973四日市）

【指導歴】

- ・ 四日市中央工業高校（コーチ）
→上野工業、伊賀白鳳高校（コーチ、監督）→津工業高校（コーチ、監督）

技術委員会組織・分担

委員長

片野 典和

副委員長

中西 達也

（ユースダイレクター）

副委員長

飯田 智也

（ユース部長）

F A コーチ

樋口 士郎

アドバイザー（担当理事）

江崎 徹

指導部長

関口 大介

地区ダイレクター部長

加藤 翔太

T S G 部長

齋藤 雄弥

事務局（会計）

三輪 雄太

事務局（情報）

北川 勇太

三重FA 育成ビジョン

～『強烈な個性で躍動感ある選手・指導者』の育成～

2021年度～

2022年4月

三重県サッカー協会・三重県サッカー協会技術委員会

JFA 2 0 0 5 年宣言

JFAの理念

サッカーを通じて豊かなスポーツ文化を創造し、
人々の心身の健全な発達と社会の発展に貢献する。

JFAのビジョン

サッカーの普及に努め、サッカーをより身近にすることで、
人々が幸せになれる環境を作り上げる。

サッカーの強化に努め、日本代表が世界で活躍することで
人々に勇気と希望と感動を与える。

常にフェアプレーの精神を持ち、国内の、
さらには世界の人々と友好を深め、国際社会に貢献する。

JFAの約束2015

2015年には、
世界でトップ10の組織となり
ふたつの目標を達成する。

1. サッカーを愛する仲間＝サッカーファミリーが
500万人になる。
2. 日本代表チームは、世界でトップ10のチーム
になる

JFAの約束2050

2050年までに、
すべての人々と喜びを分かちあうために、
ふたつの目標を達成する。

1. サッカーを愛する仲間＝サッカーファミリーが
1 0 0 0 万人になる。
2. FIFAワールドカップを日本で開催し、日本代表
チームがその大会で優勝チームとなる



2005年1月1日、国立競技場で開催された第84回天皇杯全日本サッカー選手権大会決勝の試合前に、川淵三郎キャプテンが「JFA2005年宣言」を発表。

三重FA 実現を目指す将来像

- ①サッカー競技の普及発展に努め、多くの人々にスポーツをより身近なものとし、県民の皆さんが幸福になれる環境を作り上げます。
- ②Jリーグ・WEリーグチームの実現を図り各カテゴリーにおける代表チームや選手が常に日本のトップレベルで活躍出来るよう競技の強化に努め、県民に希望と勇気と感動を与えることに努めます。
- ③サッカーを通じてフェアプレーの精神を身につけ、友好の輪を広げ健全な社会の発展に貢献します。
- ④子ども達の声が生き生きと響き渡る、施設設備の充実を図ります。
- ⑤各カテゴリーの登録者数の増加に努めます。

〔育成・強化〕

三重とこわか国体・三重とこわか大会の延期並びに中止は、関係者に大きな落胆を生じさせた。しかし、それまでの取組みは各カテゴリーにおいて充実したものであり、特にターゲットエイジの取組みは、今後のトレセン活動にフィードバックされるものであると思われる。それらをもって、トレセン活動の充実と、選手並びに指導者の資質向上に努めなければならない。FAコーチとの連携を充実させ、次世代の三重のサッカーの構築を図ります。

〔普及 登録人数の拡大〕

各種別間の連携を密に、現状を分析し、対応を検討し減少への歯止めと、新規登録者数の増加に向けたプログラムを検討し実践します。種別を超えて、抜本的な対策に向け取り組みを強化しなければなりません。

技術委員会スローガン

『強烈な個性で躍動感
のある選手・指導者』
の育成

子供たちの明るい未来と日本サッカー協会が発出した2005年宣言、さらに三重FAが目指す将来像を実現するために、

次の5つの「基本施策」を推進します。

- ① 選手の育成
- ② 指導者養成事業の充実
- ③ FAコーチの活用
- ④ サッカーファミリー拡大の推進
- ⑤ 情報発信の推進

選手の育成

①

めざす形

三重県から世界で活躍する選手になる基礎を築く。

施
策
内
容

- ゲーム環境の改善を働きかける
- 全てのサッカーファミリーが幸せになれるカレンダーの構築
- 県トレセン・地区トレセン活動の充実
- トレセンスタッフの資質向上とコンプライアンスの推進
- U 1 6 国体少年男子・女子の強化
- T S G 部の分析による発信
- 指導者養成
- 三重県中の指導者の学びの場の設定

基本施策の数値目標

2025年までに男女とも、年代別日本代表選手の輩出を目指す

<u>U17日本代表</u>	<u>: 2名 (FP/GK)</u>
U20日本代表	: 2名
オリンピック代表	: 2名
日本代表	: 2名

求められる選手像

『クリエイティブでタフで自立した選手』

- | | |
|----------------|--|
| 1) 技術 (テクニク) | 止める・蹴る・運ぶ
スライディング・ヘディング |
| 2) 戦術 (タクティクス) | 攻守の切り替えを連続して行う
攻守にわたる優先順位
ゴールを目指す・ボールを奪う |
| 3) 体力 (フィジカル) | コーディネーション・体幹・スピード |
| 4) 精神 (メンタル) | 闘う姿勢・勝負に拘る・諦めない |
| 5) 自立 | 人間教育・コミュニケーション
(人格形成・人間力を養う・良い習慣化) |

クリエイティブな選手！

- 高い技術＋正確な判断を表現
- 【観る】習慣
 - ※良いポジション、良い身体の向き、状態
 - ※しなやかなボールタッチ
 - ※首を振る、目を動かす
- 原理・原則に応じたプレーの選択

タフな選手！

- 攻守にハードワーク（4局面）
- 球際の攻防
- 勝者のメンタリティー

※審判、天候、試合条件、自信、信頼、犠牲心

- F i g h t i n g S p i r i t

自立した選手！

- リーダーシップ
- コミュニケーション
- ピッチ内外での模範となる姿勢

『個性』ある選手！

- 飛び抜けた武器、誰にも負けない武器

例えば（G K）決定機の阻止

（D F）対人の強さ

（M F）テクニックの高さ

（F W）フィニッシュの精度

- 拮抗した中での駆け引き

+

高い、身体能力！

指導者養成事業の充実

めざす形

指導者養成講習会や研修会が充実することにより、指導者の資質が向上するとともに、より高い専門性を持つ指導者仲間が増えることで、県内全域における育成環境が整っている。

施策内容

- B級 F A 開催の実施
- C級・D級講習会の実施
- リフレッシュ講習会の充実
- 地区ダイレクターとの連携
- M T K の企画・運営
- セントラルトレセン・G K P 等の活用
- 育成ビジョンの共有

基本施策の数値目標

- ① 2025年度末までに、B級ライセンス保有率を10%以上を目指す（2021年現在 6.6%）
- ② 2021年度以降のリフレッシュ研修会（C・B級）を年間13回開催

FAコーチの活用

めざす形

FAコーチ自らが各地区を回り、指導実践を行うことにより、各指導者とのベクトルを合わせていく。また、指導者間のコミュニケーションを活発にして、オープンマインドで学ぶ姿勢を持ち続けられる環境を生み出す。

施策内容

- 技術委員長への提案・サポート
- トレセンコーチ・インストラクターへの指導
- B・C・D級コーチライセンス講習、リフレッシュ研修の講師
- 登録指導者からの相談窓口、登録チーム巡回
- 差別・暴力・暴言根絶の取り組み
- 学校部活動支援（合同チームの指導、教員向け研修等）
- JFA技術委員会/トレセンコーチ/JFA技術部との窓口

サッカーファミリー拡大の推進

めざす形

技術委員会の事業充実を図る。グラスルーツ推進を軸に他委員会や連盟との連携を深めサッカー人口増加を図ると共に保護者・サポーターを抱き込み、サッカーを通じて幸せになる人が増える。

施策内容

- 技術委員会事業の充実
- グラスルーツ推進
- MM5の充実、4種委員会との連携
- キッズ委員会との連携
- フットサル連盟との連携
- J I F F 障がい者サッカーとの連携

基本施策の数値目標

- ① サッカー登録人数を2025年度まで継続的増加を目指す。
(2020年11581人、2021年11884人)
- ②MM5 ALL三重の参加人数を延べ3 6 0 人
(実施回数 6 回)

情報発信の推進

めざす形

各種別の大会日程や結果など、必要な情報を必要な時にホームページですぐに確認することができる。また、リフレッシュ講習会やベクトル合わせなどの講習会の情報を、県内のすべての指導者に確実にアナウンスをする。

施策内容

- ホームページによる発信のスピード感
- SNS の活用
- J F A I D を活用したメール配信
- T S G との連携で分析映像を配信する

基本施策の数値目標

- ①2022年度中のホームページ大会日程カレンダーへのアクセス数を3000以上にする
- ②リフレッシュ講習会開催時の案内を、「ホームページ」「SNS」「メール配信」の3種類で、講習会毎に必ず1回発信をする

不易流行

いつまでも変化しない本質的なものを忘れない中にも、新しく変化を重ねているものをも取り入れていくこと。また、新味を求めて変化を重ねていく流行性こそが不易の本質であること。

『変えないもの』

【指導者】

- ・情熱
- ・プレイヤーズファースト
- ・グッドスタンダード

【選手】

- ・球際の攻防
- ・攻守の切り替え
- ・優先順位を考えたプレー
- ・全力の姿勢

「オープンマインド」

『変えていくもの』

【指導者】

- ・ 日常、基準 ⇒ 上げていく
- ※トレーニングの環境、オーガナイズ

【選手】

- ・ リーダーシップ
- ・ コミュニケーション
- ・ 自立

皆様と共に

明日の三重県を変えていきましょう！

よろしくお願いします。